

19号

2017年
12月1日

新小山市民病院だより



目次

- 理事長挨拶 01
- 新採用職員の紹介 02
- 診療最前線 03
- 部署紹介・お知らせ 04

地域に存続できる皆様の新小山市民病院に

インターネット、自動車ナビ、携帯電話など、二、三十年前には想像もしなかったことが現実になっています。同様に、医療の世界も目まぐるしく変化しています。一つは、医療の高度化、もう一つは高齢化です。今や、がんは「一巻の終わり」ではなく、結核や糖尿病などと同じように治療できる病気です。心筋梗塞は、昔ほど怖い病気ではなく、数日で退院できるようになりました。そして、現在の病院の入院患者の主体は、高齢者、それも75歳以上の後期高齢者になっており、100歳以上の方が救急外来を受診される時代です。実は、医療が高度化し、高齢化したことが、国民が直接及び間接的に負担しなければならない医療費を青天井に押し上げています。問題は、未来世代に莫大なつぎを回しており、このままでは医療保険や医療提供体制の存続が危惧されます。

医療を提供する側としては、高度三次医療は大学病院、急性期二次医療は新小山市民病院等、そして一般一次・慢性期医療は地域の医療機関と機能分担することが求められています。私たちは、この間市民のお役にたてるように病院を改革してきました。医療を需要する側の市民の皆様も、その病状に応じて、それにふさわしい医療機関を選択するようお願いいたします。そのことが、地域において新小山市民病院を存続させる大きな力となるのです。

平成29年12月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

TOPICS

新小山市民病院ふれあいまつりが開催されました

10月15日(日) 第6回ふれあいまつりが開催されました。

あいにくの雨の中での開催となってしまいましたが、700名以上もの方々にご来場いただき、盛大に開催することができました。

初企画のロボットスーツHAL、メンタルコミットロボットパロ、パートナーロボットuni b o体験では、長蛇の列ができていました。病院食の試食会では、チキン南蛮となめこの味噌汁などを配布し、普段の食事と食べ比べてもらいました。また、『小山児童合唱団』『とちぎジュニアオーケストラ』のみなさんがおまつりに花を添えてくださいました。

雨で1日中気温も上がらずとても寒い1日でしたが、参加いただきました方々に、新小山市民病院をより一層ご理解いただけたものと思っております。



医師・ 看護職員を 募集しています。

私たちと一緒に
働きませんか

院内保育所も整備されています。ご連絡をお待ちしております。

①医師募集

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

②看護職員

平成29年度第4回採用試験
試験日:2月22日(木)
対象者:看護師
応募期間:
12月1日(金)~2月2日(金)
採用日:平成30年4月1日(日)

③介護福祉士(正職員)

募集人数:7名
応募資格:介護福祉士の資格を有する方

④看護師(臨時職員) 看護補助者(臨時職員)

※夜勤の出来る方は、正規職員への道あり。

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

人事課 ☎36-0285

地方独立行政法人
新小山市民病院



〒323-0827
栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎0285-36-0200 (代表)

↑ <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

↑ <https://www.facebook.com/shinoyama.city.hospital>

職員紹介(8・9・10月採用)～①所属②出身地③趣味④専門分野(疾患)について(医師のみ)⑤ひとこと～

心臓血管外科
部長
大木 伸一

- ①所属 心臓血管外科
- ②出身地 栃木県宇都宮市
- ③趣味 音楽(コントラバス)
- ④専門分野(疾患)について

心臓血管外科の担当する疾患は、心臓弁膜症や狭心症、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤が代表的なものです。循環器内科では心臓の詳しい検査を行い、薬やカテーテルでの治療を行いますが、動脈瘤や静脈瘤などは外科治療が基本となるので、手術が必要となった場合は、心臓血管外科が直接担当いたします。

「歩いていると足が痛くなって長く歩くことができない」という症状はもしかしたら下肢の閉塞性動脈硬化症かもしれません。下肢の血管が狭くなって血流が減少している可能性があります。

「足の血管が浮き出て、かゆみがある、湿疹ができた、立っていると足がだるくなる、夕方になると足がむくむ」などの症状は下肢静脈瘤かもしれません。

こういった症状があれば、手術するしないにかかわらずご相談ください。症状と患者さんのご希望に沿った治療を検討いたします。

⑤ひとこと

平成29年10月から新小山市市民病院に着任いたしました。平成2年に研修医として自治医科大学の心臓血管外科(当時は胸部外科)に入局し平成29年9月まで勤務していました。自治医大では主に胸部大動脈瘤などの大血管疾患を担当してきました。大学病院では手術枠などの関係で腹部大動脈瘤や末梢血管疾患の手術が入りにくい状況でしたが、新小山市市民病院で治療が可能となります。当院で対応できない重傷症例は自治医大での治療も検討いたしますので、気になる病変があるようでしたらご相談ください。

麻酔科
部長
田處 雅代

- ①所属 麻酔科
- ②出身地 高知県
- ③趣味 旅行
- ④専門分野(疾患)について

全身麻酔、術後鎮痛を目的とした麻酔を各診療科の先生と一緒に患者さんに合わせた綿密な周術期管理を行っております。

⑤ひとこと

麻酔科では患者さんが安心して手術を受けることができますよう、日々努力しております。

手術前にしかお会いすることはありませんが、手術前に麻酔の内容や麻酔に対するリスクの説明をしておりますので、麻酔に関して何かご不安なことがありましたら、遠慮なくお尋ねください。新小山市市民病院に貢献できるよう日々努力していきたくております。

外科
副部長
宇井 崇

- ①所属 外科
- ②出身地 栃木県芳賀郡
- ③趣味 自転車
- ④専門分野(疾患)について

消化器がん(食道癌、胃癌、大腸癌など)を中心に胆石や鼠径ヘルニアなどが専門で、腹腔鏡手術・開腹手術を行っています。病気と患者さん一人一人の状況(体力など)に合わせて適切な治療を検討し提供しています。

⑤ひとこと

私は自治医科大学消化器一般外科に所属し、平成29年10月から新小山市市民病院 外科に赴任しました。外科治療は患者さんの痛みや辛さが避けられませんので、苦痛を軽減し、不安を解消出来るようにチーム一丸となって病気に立ち向かっています。腹腔鏡による傷の小さい手術も積極的に行っていますので、手術が必要な方は遠慮なくご相談下さい。

看護師
飯島 翼

- ①3 B病棟
- ②小山市
- ③映画鑑賞・料理
- ⑤未熟なところが多々ありますが頑張っています。

看護師
榎田茉莉亜

- ①3 C病棟
- ②栃木県
- ③旅行・ドライブ
- ⑤よろしくお願ひします。

看護師
木村富子

- ①HCU・救急
- ②茨城県
- ③読書
- ⑤いつも笑顔をお忘れず、患者様が安心して治療を受けられるよう頑張ります。

看護師
中島優香

- ①HCU
- ②栃木県
- ③旅行
- ⑤頑張ります よろしくお願ひします!

看護師
田口奈美子

- ①透析センター
- ②栃木県
- ③洋裁・切り絵
- ⑤笑顔をお忘れず、よい看護をしていけるようにスキルアップしていきたいと思ひます。

看護師
小平千春

- ①4 B病棟
- ②北海道
- ③旅行・温泉めぐり
- ⑤患者様、ご家族の苦痛や不安を少しでも取り除けるよう努めていきたいです。

看護師
鶴岡晴香

- ①手術室
- ②奈良県
- ③温泉めぐり
- ⑤関西から栃木にやってきました。まだまだわからないことも多いですが宜しくお願いします

介護福祉士
末崎智恵子

- ①3 A病棟
- ②栃木県
- ③ライブ
- ⑤いつも笑顔で頑張ります。

看護補助者
鈴木恵理

- ①3 A病棟
- ②栃木県
- ③ライブ・犬と出掛ける
- ⑤笑顔で毎日頑張ります。よろしくお願ひします。

1. 脳卒中センター



～診療最前線～
当院の診療について紹介します

脳卒中センターでは、専門チームが脳卒中の集学的治療を24時間体制で提供しています。

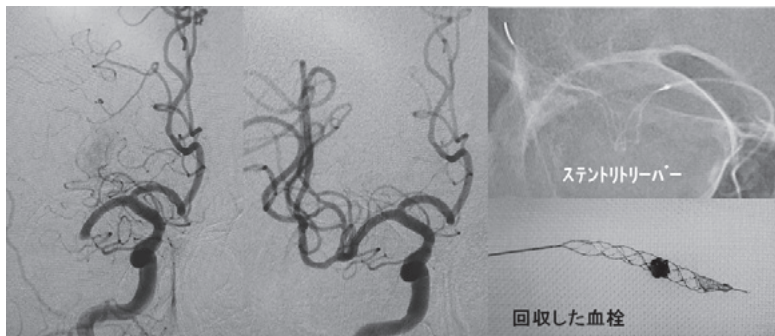
脳卒中は時間との戦いです。

当院は県内で初めての脳卒中ケアユニット（脳卒中専用治療室、SCU）を有し、TPA静注療法（血栓を溶かす特効薬）、カテーテル治療（下写真：カテーテルを用いて詰まった血栓を回収します）、開頭手術、リハビリテーションなどの全ての治療に診療科や職種の枠を超えた専門チームで対応しています。

私達の目標は「小山市の脳を守る」ことです。

脳卒中になる人を減らしたい、なったとしても生活に不自由をきたす後遺症を少しでも減らしたい、それが私たちの願いです。

片側の顔の麻痺（口が垂れる）、片側の腕の麻痺（万歳ができない）、呂律が回らないという症状は脳梗塞に特徴的な症状です。家族や友人の「顔・腕・言葉」の異常に気付いたらすぐに救急車を呼んでください。「脳梗塞は一刻を争う病気」であり「時間との勝負」です。



先進病院視察に行ってきました

リハビリテーション部門技士長 服部 浩一

10月6～7日、病院長、患者支援センター長、看護部長、事務部長、3A病棟師長、私を含め6名で、地域包括ケア病棟運用及び身体非拘束に関する先進病院視察のため石川県にある芳珠記念病院、金沢大学付属病院に行ってきました。

芳珠記念病院では、看護局より地域包括ケア病棟の運用、ベットコントロールの紹介後、施設見学をさせていただきました。連携室から、行政、マスコミとも連携を図る取り組み、病棟リハビリスタッフから、退院後のADLを目標に、生活の場面で患者さんの要求にリアルタイムに応え、生活回復リハビリを提供するポイント・オブ・ケア・リハビリ（POCリハ）の説明を受けました。POCリハの導入を予定している当院にとっては、大変参考になりました。



金沢大学付属病院では、施設見学後、看護部長さんの「抑制しない看護」、東病棟7階（循環器科）、北病棟（精神科）師長による事例の紹介をさせていただきました。倫理面、抑制＝安全ではないという観点から、せん妄ケア体制、看護ケア体制を見直し、患者さんととことん付き合い、最善のケアを考え、身体拘束ゼロを達成させた看護部の大変な努力に、参加者一同感銘を受けました。今回の視察で学んだことを、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

6. 患者支援センター医療連携室

このコーナーでは、当院の各チームの紹介をしています



とちまるネットをご存知ですか？

『とちまるネット』は、患者さんに同意いただいた上で、医療機関に保管されている診療情報を、医療機関の間で共有できるネットワークです。『とちまるネット』を利用することで、患者さんの診療情報が共有化され、より良い医療サービスを効率的に受けることができます。

なお、患者さんの診療情報を守るため、ネットワークにはセキュリティ対策がされているので安心です。

また、当院では『とちまるネット』を利用し、“つながる安心 地域の医療”を目指しております。

紹介状があると受診の予約ができます

開業医の先生方へ紹介患者さんに対する意見調査をした際に、「患者さんが直接、市民病院とやり取りをして予約をとるようにしてほしい。」というご意見をいただき、検討した結果、紹介状をお持ちの患者さんからのご予約をお受けすることになりました。

予約方法については、水曜日・木曜日午後1:00~4:00となっており、曜日と時間を制限させていただきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

年末年始の診療案内

12/29(金)~1/3(水)の6日間は外来診療(救急を除く)をお休みさせていただきます。なお、救急外来は二次救急(入院や手術を要する重症な患者さん)を原則として受け入れております。救急の受入状況によって診療できない場合がございますので、緊急時に直接来院される場合には、必ず事前に下記電話番号までお問い合わせください。

救急外来・休日夜間受付
☎36-0290



また、一次救急(入院まで至らない比較的軽症な患者さん)の場合には、まずは夜間休日急患診療所(☎39-8880)もしくは一次救急医療機関当番病院(小山市広報参照)にお問い合わせください。

※診察券(お持ちの方)・保険証・医療受給証など(お持ちの方)・紹介状(他の医院、病院からの方)をお持ちになって、ご来院ください。

ボランティア募集のお知らせ

現在、ボランティア活動にご協力くださる方を募集しています。

●外来ボランティア
<活動内容>

- ・外来患者さんの案内
- ・車いすの介助 など



事務局

☎36-0200

(医事課 関根)



公開講座のお知らせ

毎年好評をいただいております『糖尿病教室』を開催いたします。

小山市健康医療介護総合支援センターにて10:00~13:30(9:30受付開始)

●1月13日(土)

参加費：無料

◆糖尿病など生活習慣病のお話

／糖尿病・代謝内科部長 永山 大二

◆糖尿病と薬とお金のお話／薬剤師 篠崎 智一

◆糖尿病の運動療法／理学療法士 石井 憲治

◆糖尿病と上手につき合おう／看護師 太田 恵

●3月10日(土)

参加費：800円

～一日でギュギュっと！一年のまとめ(昼食付)～

◆医師/看護師/リハビリ/検査/薬剤師/栄養士◆

※ 参加費は、800円

(昼食代を含む)を頂戴いたします。(当日徴収)

※ 昼食の準備があるため、キャンセルの場合もお電話を頂戴できますと助かります。



直接総合案内で受付またはお電話(☎36-0200)にてお申し込み下さい。

(受付時間：月曜～金曜日8:30~17:00)定員：各日とも50名(先着順)